

三重県立熊野古道センターからのてがみ

"The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center"

2013.夏号

通号 No.27



残したい宝物 日本のふるさと須賀利

漁師さんの日常

須賀利町は三重県尾鷲市の飛び地で、市街地とは尾鷲湾を挟んで向かい合っています。昭和57年に県道が開通するまでは、巡航船でしか行くことができない陸の孤島でした。豊かな自然と美しい景観が保たれた小さな漁村で、平成21年には『にほんの里100選』に選ばれました。瓦屋根の古い民家が海から山へ雛壇のようにびっしり、正面を海に向けて立ち並んでいます。町の高台に建つ普濟寺から見下ろす瓦屋根風景は壮観で、誰もが思わずシャッターを切ってしまうもうなずけます。そこには昔ながらの漁村の風景が残り、ゆったりとした時間が流れる素朴な雰囲気があります。

過疎化、少子化、高齢化という大きな問題を抱えながらも、町の人々は誰もが笑顔で言葉を交わし、訪れるわたしたちを温かく迎えてくれます。

須賀利町は現在の須賀利の東、日和山の向こう側の『元須賀利』と呼ばれている土地から、江戸初期に移り住んできた集落です。かつては人々が暮らし、鮪の漁場でもあった元須賀利には大池と小池の二つの海跡湖があり、平成24年に国の天然記念物に指定されました。

しかし、池に生い茂っていたハマナツメの群落は鹿の食害により減少し、池の水もカワウの糞害によりグリーン化してしまうなど、近年、大池周辺の環境は大きく変わってしまいました。人が生活することで保たれていた、自然と動植物とのバランスが崩れてしまったことが原因と考えられます。

一方、大池の底には堆積物が状態良く残っており、昨年実施された高知大学による掘削調査では、2000年前の巨大地震による津波堆積物が発見されました。さらに4000年前の堆積物を調べることで、巨大地震の発生周期を割り出す研究が進められています。

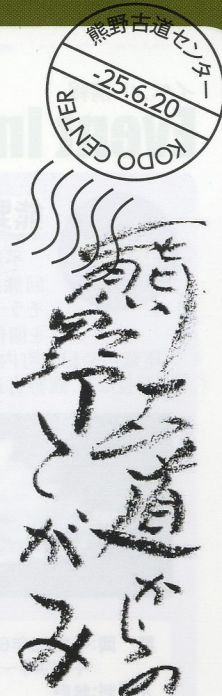
今回ご紹介した須賀利には、守らなければならない豊かな自然と景観、人の営み、歴史が詰まった地層など、貴重な宝物がたくさん残っています。

そんな宝物を見つけに、みなさんも是非一度須賀利をお訪ね下さい。

熊野古道センターでは、須賀利大池に注目しこの夏の企画展で、海跡湖の魅力にせまります。乞うご期待!



大池



熊野古道からのてがみ

27 通目



八鬼山峠

モチツツジ ツツジ科

紀北町の熊野古道・荷坂峠では、4月から5月にかけて、モチツツジやオンツツジが一面に咲きそろいます。曾根町の城跡に向かう道でも見られます。松本峠道や逢神坂峠道の登り口では12月から3月頃にかけて咲き、また場所によっては年中咲いています。

葉の両面や花の柄に腺毛が多く、小さな虫が捕えられているのが見られます。鳥モチの意味が納得できるようです。モチツツジの分布は東海地方から近畿・中国地方・四国の東部や山梨県・福井県にも自生していると書かれています。



モチツツジ(花)



モチツツジ(腺毛)

花尻 薫からの季節のたより No.27

モチツツジの花の咲く時期は、普通4月から6月くらいですが、熊野地方では北風が冷たい頃でもこの花を見ることがあります。熊野古道沿いの暖かい場所や、杉、ヒノキなどが生えていない里山のくぼんだ日溜まりにひっそりと咲いています。

「モチ」というのは鳥モチの意味で、花の柄や萼に腺毛と言われる、ねばねばした毛が生えていますので、「ネンバリツツジ」とも言われています。また季節はずれに咲くので尾鷲市ではトキシラズやボケツツジと呼ばれ、南牟婁郡の紀宝町ではキツネバナやバケツツジなどと呼んでいます。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00
料 金: 中学生以上1,200円
小学生以上700円
4歳~小学生300円
乳幼児無料
60歳以上1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00
入 浴 料: 一般 600円
65歳以上 500円
4歳~小学生 300円
4歳未満 無料

お風呂あがりは、カフェでまったり♪

営業時間: 9:00~17:00
(最終受付 16:30)



●お車で越しの方は...

国道42号線で尾鷲市内→矢ノ浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

●電車で越しの方は...

■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」下車
■松阪駅→南紀特急バス「熊野古道センター」終点下車(約2時間)

★熊野古道センターニュースレター★ “熊野古道センターからのてがみ 2013年夏号”

- 発行日: 2013年6月20日(季刊)
- 編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当: 東
- 連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間: 午前9時~午後5時
- 入場料: 無料
- 休館日: 12月31日、1月1日 (その他メンテナンス時休館)
- 60000130620MH



ゆあさ くみこ
湯浅 久美子さん
(尾鷲市)
熊野古道語り部
友の会会員

筆リレー
次は 熊野市の
植野 めぐみさん

「自然が濃い！」伊賀の山奥で生まれ育った私が、尾鷲に引越してきたときに、まず感じた印象です。「背後の山に圧倒されて、前につんのめるとそのまま海に落ちてしまう...」と思うほど山が海に迫り、目の前で鮎が泳ぐ川、緑豊かな山の木々などなど、この狭い地域にぎゅっと濃縮されたような自然を目の前にして、息苦しくなるほど「自然が濃い」と感じました。でも、地元の人にとっては当たり前の風景なのか、この感動がなかなか伝わらなかったように思います。尾鷲に来たのは、ちょうど熊野古道体験フェスタの頃で、各地でウォークイベントが開催されていました。「熊野古道」と一括りにするにはもったいないほど峠ごとに違う石畳や古道の表情、登りきると突然目の前に広がる海岸線、歴史ある道標や句碑など、出会う景色がすべて素晴らしく、あちこちの道を歩いたものでした。当時、まだ小さかった子供たちと一緒に八鬼山を越えたときは、三木里で「あら、こんな小さい子も八鬼山を越えてきたの」とほめてもらって、保育園児だった息子は照れながらも嬉しそうだったことを覚えています。

今は子供たちも大きくなりましたが、一緒に歩くこともなくなりましたが、

地域の情報 News
Pick Up! 皇太子さま御来館

5月17日(金)15時52分に古道センター駐車場に御着。
図書資料室で御休憩の後、特別展示室で鈴木知事から
県勢概要の説明を御聴取。三回の御休憩の御茶の接待
は、六人の女子職員が担当しました。

16時40分頃、展示棟に御入りになりました。その第一声
は「いい木の香りが致しますね」でした。映像ホールで熊
野古道伊勢路の映像を御覧になりました。

展示棟のガラス越しに、天狗倉山、便石、その奥の嘉茂
助の頭等と馬越峠の位置を御説明。大峯奥駈道の説明
の折には、「弥山には登りましたよ」とおっしゃいました。
スペイン巡礼道についても説明しましたが、少し御質問が
ありました。20分弱の御案内でしたが、美しくてやさしい
日本語をお話になれる方との印象が強く残りました。交
流棟で尾鷲節実演を御覧になった後、17時54分にセン
ターを後にして、次の会場へと向かわれました。

三重県立熊野古道センター
センター長 川端 守



和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

和歌山県世界遺産センターが平成25年1月1日に再オープンして以来、多くの方々にご来館いただいております。今年度も当センターの事業として、世界遺産の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう、世界遺産セミナーを下記の通り開催いたします。世界遺産に興味・関心のある方のご参加をお待ちしています(参加費は無料です)。

また、継続して参詣道修復活動の「道普請」も実施しています。昨年度は44団体(2168名)の方に参加していただきました。当センターが行う道普請は15名前後からの申込みが基本になっています。土代は参加者のご負担になりますが、多くの方々に道普請への参加をしていただければ幸いです。

平成25年度世界遺産セミナー(予定)

7/7(日)
13:00~15:00

内容「那智の田楽と熊野の祭り」について
於【世界遺産熊野本宮館】

9/22(日)
13:00~15:00

内容「高野山への道、高野七口等について」
於【高野山中央公民館】

11/10(日)
13:00~15:00

内容「丹生都比売神社等の建造物について」
於【かつらぎ町 あじさいホール】

「道普請」とは

文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の修復活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。
ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいています。



参加費
は無料



道普請作業
の様子

お問合せ先

和歌山県世界遺産センター 住 所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1
TEL:0735-42-1044 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

企画展への
情報提供のお願い

当センターでは、秋に企画展「熊野を訪れた文学者たち(仮)」の開催を予定し、現在調査を進めております。
つきましては、東紀州地域を訪れた文学者(野口雨情など)に関する資料についてご存じのことがありましたら、
ぜひ熊野古道センター(TEL:0597-25-2666 担当:堀内)まで情報をお寄せください。

イベント情報
Event Info.

企画展

熊野古道写真学校作品展

平成25年4月5日~7日に開催した「第7
回熊野古道写真学校~東紀州の春を写
そう~」の参加者による写真作品の展示会
を開催します。

尾鷲市や紀北町内を舞台に、漁村の風景や山桜、雨上り
の石畳など、熊野古道写真学校に参加した21名が撮り取
めた東紀州の春の情
景約80点を展示しま
す。また、講師の清水
重蔵先生、杉本恭子
先生の作品や、写真
学校の様子なども紹
介します。

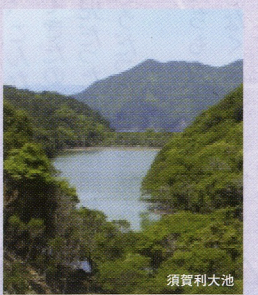


期 間:平成25年6月1日(土)~平成25年7月7日(日)
午前9時~午後5時 *期間中無休
入場料:無料
場 所:企画展示室

企画展

須賀利大池~海跡湖の魅力にせまる

尾鷲市須賀利町にある海跡湖「須賀
利大池」をとりあげ、大池周辺の植物相
や動物相などの自然を紹介する他、池
底から採集した津波堆積物について展
示解説します。



期 間:平成25年7月20日(土)~平成25年9月23日(月・祝)
午前9時~午後5時 *期間中無休
入場料:無料
場 所:企画展示室
共 催:尾鷲市教育委員会

高知大学特任教授 岡村眞氏をお迎えし、下記のイベントを開催します。

9/7(土)新しい古道の歩き方
「海跡湖・須賀利大池探訪」

須賀利町にある国指定天然記念物の海
跡湖・須賀利大池を訪れ、津波堆積物や
大池周辺の自然について理解を深めます。

9/8(日)講演会「須賀利大池~湖底が語る
過去の巨大地震痕跡から将来を考える」

須賀利大池の池底にある津波堆積物を調
査研究している高知大学の岡村眞特任教授
の講演会をおこないます。

*詳細は後日HP・新聞等でご紹介します。

交流イベント

**7/7(日)新宿トラッドジャズフェスティバル
ソウル・フード・カフェ ジャズコンサート**

ジャズの本場ニューオーリンズの空気を運ぶ6人編成のジャズユニット
『ソウル・フード・カフェ』による本格的なジャズ演奏をお楽しみください。

時 間:開場 午後6時、開演 午後6時30分
入場料:500円
定 員:150席(先着順・チケット有)
場 所:交流棟大ホール
出 演:ソウル・フード・カフェ

チケットの販売

6月7日(金)午前9時~

*お一人様4枚まで。予定枚数が無くなり次第終了。



体験学習

6/29(土)自然学校「川の生き物しらべ隊!!」

身近な川にすむ生き物を観察し、生息状況から川の汚れを調べるとともに、
水辺に親しんでもらいます。川の生き物について調べることで、場所によりすん
でいる生き物の違いなども比較しながら観察します。

時 間:午前9時~正午 *荒天中止
参加料:300円(保険料を含む)
定 員:20名(要申込、先着順)
対 象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
場 所:熊野古道センター集合、尾鷲市内(中川黒瀬橋周辺、矢ノ川橋周辺)
講 師:七見憲一氏(熊野古道センター職員、尾鷲自然研究会代表)
受 付:6月27日(木)午後5時まで
共 催:尾鷲市



7/21(日)自然学校「のぞいてみよう! 海辺の水族館」

普段は海面下に隠れて見えない生物も、潮だまりにできた天然の水族館では、ヤド
カリ・フジツボ・カニ・カイメン・イソギンチャク・ヒザラガイなど、海辺に住むさまざまな
生物を観察することができます。思いがけない生きものとの出会いがあるかも?

時 間:午前10時~正午 *荒天中止
参加料:300円(保険料を含む)
定 員:20名(要申込、先着順)
対 象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
場 所:尾鷲市行野浦海岸 *集合:熊野古道センター
講 師:栗藤和治氏(日本自然保護協会自然観察指導員)
受 付:6月21日(金)~7月18日(木)午後5時まで



7/27(土)夏休みわくわく昆虫大作戦

~チョウとトンボをつかまえ標本をつくろう

主にチョウとトンボをつかまえ、それを標本に仕上げるまでの手順を学びま
す。オリジナルの標本作りにチャレンジしませんか?

時 間:午前10時~正午
参加料:300円
定 員:20名(要申込)
対 象:小・中学生
場 所:熊野古道センター周辺の里山
および体験学習室
講 師:山口和洋氏(熊野の自然を考える会、三重県虫談話会)



新しい古道の歩き方

8/4(日)天空の里トレッキング~表丹倉の絶景を目指して~

熊野市育生町の尾川地区から赤倉地区へ続く
昔の生活道「カシノ道」を歩き、育生町が
一望できる表丹倉を目指すトレッキングです。

時 間:午前9時~午後3時
参加料:2,000円(保険料・お弁当代・資料代を含む)
定 員:20名(先着順・要申込)
場 所:熊野市育生町尾川地区
ガイド:有木 保氏(育生町自治会長)



8/11(日)~8/13(火)夏休みスペシャル体験教室

3日間限定の日替わり教室です。東紀州に訪れた記念に
ご家族で楽しいものづくりに参加してみませんか。

日 程:8月11日(日)ひのきアート教室(参加料:200円~)
8月12日(月)バードコールづくり(参加料:200円)
8月13日(火)万華鏡づくり(参加料:200円)
場 所:展示棟ロビー
講 師:NPO法人ひのきアート空楽風会員、熊野古道センター職員

*すべて事前
申込不要で
午後1時~3時
受付です。
*材料が無くなり次第
終了となります。

8/25(日)東紀州の四季を味わう料理教室~紀和牛と夏野菜~(予定)

東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。紀和牛と夏
野菜を使った、夏にぴったりのレシピをご紹介します。食欲のない夏こそ、旬の料
理で食卓を彩ってみませんか。

時 間:午前10時~午後1時
参加料:2,000円
定 員:24名(要申込) *応募者多数の場合は抽選になります。
場 所:体験学習室
講 師:村林新吾氏(三重県立相可高等学校食物調理科教諭)
受 付:7月25日(木)~8月13日(火)午後5時まで



料理教室の様子

月別ひのきアート教室

地元の特産品である尾鷲ヒノキを使って、麻雀ゲームを作ります。
日 程:6月23日(日)、7月28日(日)、8月25日(日)

参加料:1,000円
定 員:各10名(要申込)
場 所:体験学習室
講 師:NPO法人ひのきアート空楽風会員

すべて午後1時~4時
*連続講座ではありません。

毎週日曜日 あなたも木工作家!その場でできる木工教室

事前申込不要!!来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室で
す。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物・木のおもちゃづくりな
ど週替わりで開催します。

時 間:午後1時~3時受付
参加料:200円~1,500円(申込不要)
場 所:交流棟ロビー
講 師:NPO法人ひのきアート空楽風会員、川端一氏、
(週替わり) 大形弥生氏、畑中昇氏



〈お申込み・お問い合わせは、お電話が直接熊野古道センターへどうぞ! TEL:0597-25-2666〉